



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和3年 5月28日

No.6

児童数 75名

校長 宋戸 与一

“当たり前”のことが笑顔でできる”

「いつもありがとうございます。」

掃除の時間、廊下の汚れを落としていると、A子は決まって近寄ってきて声をかけてくれます。

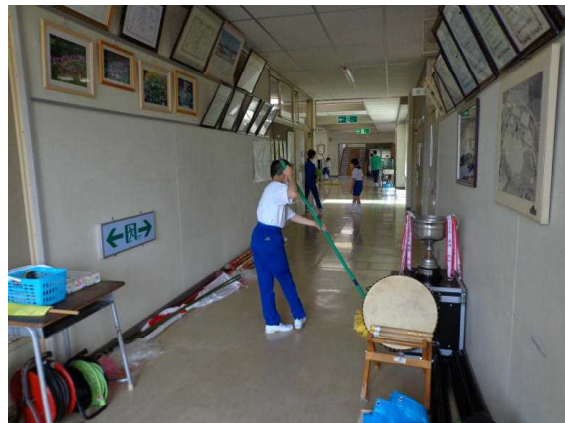
「どういたしまして」と答えます。この子の家庭では「ありがとう」が自然に交わされているんだらうな、この子は幸せな毎日をご過ごしているんだらうな、クラスでも明るさ・優しさを友達に振りまいているんだらうな、と感じます。

新学習指導要領が完全実施となり、本校でも子どもたちの「生きる力」を育むことに努めているところです。学力向上はもちろん、その学びの基盤となる「自分と向き合う力」

「自分を高める力」「他者とつながる力」を育てなければなりません。これらは、個々の人間性や社会性になります。学力ではかえることができない、でもとても大切な力です。将来子どもたちが、幸せで豊かな人生を送れるように育てていかなければなりません。

A子の言葉は、他者の気持ちに寄り添って考え判断し、自然に出たのだと思います。人間性や社会性がすくすくと育っている証拠です。

自分から笑顔であいさつができる、お世話になったら自然にお礼が言える金小の子どもたち。芯が強く、優しく、思いやりに満ちた子どもたちの、“当たり前”のことが笑顔でできる”を目指していきます。



読書を楽しんでみませんか

学校司書の佐々木先生、子どもたちに本に親しんでもらおうと様々な工夫をしてくださっています。ご家庭でもお子さんと一緒に読書を楽しむ時間を作ってみませんか。



【子どもたちに読書の魅力を伝えるために】

- ◎ 家族が本に親しんでいる姿を見せる。
 - ◎ 保護者の方が小学生の時に読んでいた本を紹介する。
 - ◎ 同じ本を一緒に読んで感想を伝え合う。
 - ◎ 曜日や時間を決めて、家族そろって読書をする時間をつくる。などなど
- 忙しい毎日の中で、ちょっとした時間をつくり、読書を楽しんでほしいと思います。

ありがとうございました。23日(日)早朝、関谷の山田泰一様が、校庭の水取用にとたくさんのスポンジを届けてくださいました。地区の皆様にご支援いただいていること改めて感謝申し上げます。